平成 24 年 12 月 13 日

各　位

上場会社名　株式会社ＩＧポート
代表者　代表取締役社長　石川光久
（コード番号　3791）
問合せ先責任者　ＩＲ担当執行役員　郡司幹雄
（TEL　0422-53-0257）

劇場用中編アニメーション『ハル』制作決定のお知らせ

当社のグループ会社である株式会社ウィットスタジオ（以下、WIT）は、新たに劇場用アニメーション作品『ハル』の制作を行うことを決定いたしましたので、お知らせいたします。

本作は、アニメーションの枠に囚われない新しいアニメーションの創造を目指し、今日本で注目を集める新進気鋭のクリエイターが集結したオリジナル劇場アニメーション作品となります。

物語の舞台は近未来の京都、飛行機事故で最愛の恋人“ハル”を失ったショックで心を閉ざした少女くるみ。くるみの笑顔を取り戻すためにヒト型ロボットの Q01(キューイチ)は、ハルそっくりのロボハルとしてくるみと暮らすことに。二人の心の触れ合いを描く、近未来ラブストーリーとなっております。

人とロボットが心を通わせる奇跡の物語を描く本作の脚本には、テレビドラマ『野ブタ。をプロデュース』や『セクシーボイスアンドロボ』『Q10（キュート）』の脚本を手がけた木皿泉、キャラクター原案には『ストロボ・エッジ』『アオハライド』（別冊マーガレット／集英社）で年代問わず女子の絶大な支持を得る少女マンガ家の咲坂伊緒、監督には『四畳半神話体系』『ギルティクラウン』各話絵コンテ・演出で注目を集め、本作が初監督となる牧原亮太郎を起用。そして、アニメーション制作を WIT が担当いたします。本作品は 2013 年 6 月 8 日より新宿ピカデリーほか全国の劇場で公開予定です。

尚、当作品を制作することによる当社業績に与える影響は、2013 年 5 月期の事業計画に含まれております。



©2013　ハル製作委員会

【アニメーション作品について】

◇タイトル：『ハル』

◇ストーリー：「くるみに、生きていることを思い出させるために、ボクは人間になった」
ハルとくるみの幸せな日常。いつまでも続くと思っていた日々は、飛行機事故で突如終わりをつげた。けんか別れのまま、最愛のハルを失い、生きる力も失ってしまったくるみ。彼女の笑顔をとりもどすため、ヒト型ロボットの Q01(キューイチ)は、ハルそっくりのロボハルとしてくるみと暮らすことに。ロボハルの頼りは、かつてくるみが願い事を書いた、ルービックキューブ。色がそろうごとに溢れてくるくるみの想い。少しずつ打ち解けるロボハルとくるみだったが・・・。

◇スタッフ：監督：牧原亮太郎／脚本：木皿泉／キャラクター原案：咲坂伊緒
アニメーション制作　：WIT STUDIO

◇公開予定：2013 年 6 月 8 日（土）　新宿ピカデリーほかにて全国公開

以　上